

## 平成二十五年度 午さん未さん達の田作り

### ～ 第七期 大椎っ子田んぼ・第四期 あすみっ子田んぼ ～

今年も、YPPスタッフとボランティアのご父兄の方々と5年生による学校田んぼが始まりました。4/4に種籾を苗代にまきましたが、今年はやや気温が低かったためか、なかなか、苗が大きくなりませんでした。大椎小学校が田植えをした5/14には、苗はまだ10センチほど。子どもたちは、か細い苗を1本ずつにそっと分けながら、ていねいに田植えをしていました。あすみ小学校は2週間ほど後の5/27だったため、苗もすっかりとしていて、田植えがしやすかったようです。両校とも、例年通り、金谷さんから「田作りは体験ではなく、仕事です！」と心構えや田植え指導をしていただいた後、はだして田んぼに入り、田植えや土の感触を楽しんでいたようです。自然観察では、「5感を使って観察しましょう」と、網代さんからお話していただき、いろいろな生き物を探したり、捕まえたり、耳をすまして鳥の泣き声を聞いたり…と目をキラキラと輝かせながらの観察となりました。そんな子どもたちの感想です。

### ■大椎小学校

☆谷津田で初めての田植えをしました。最初は、はだして入るのがいやだったけれど、一度入ってみると冷たくて気持ちよかったです。しかし、足や手がドロドロになってしまいました。その後、自然観察に行きました。いろいろな生き物がいて、楽しかったです。次に田んぼに行く時に、苗がどのくらい成長しているか楽しみです(S.M)。

☆田んぼにはいろいろな虫がいました。トンボやオタマジャクシなどいろいろいました。田んぼに入るのは正直いやでした。でも、入ってみると、意外と気持ちよかったです！ボランティアのお母さんも優しく田植えの方法を教えてくれたので安心しました。初体験のことがいっぱいドキドキ、ワクワク、楽しい田植えでした(M.A)。

☆田んぼの仕事は、最初は足がドロだらけになるのが嫌でした。でも、田んぼの中にはいろいろな生き物がいて、楽しく仕事をしながら、観察ができました。自然観察では、オタマジャクシを見たり、カエルやトンボをつかまえたり、植物の名前や種類を教えてもらったりして、ワクワクする観察会でした(A.H)。

☆田植えと自然観察をしました。田植えはどろがべちゃべちゃしていて、ぬるかったです。だけど、農家の人達がやっている仕事を学べてよかったです。自然観察は、いろいろな植物や虫などにさわれたので、楽しかったです。特に田んぼの奥に行くとカエルをさわることができたので、楽しかったです。3匹のカエルを手にとりました。軍手がドロドロになってしまいました。7月、また、田んぼに行くのが楽しみです(N.F)。

☆小山町の谷津田の田んぼに行き、田植えや自然観察をしました。谷津田では、外来種(アメリカザリガニ、ナガミヒナゲシなど)や、そこにしかない動植物(イヌスギナ、シュレーゲルアオガエルなど)、たくさんの生き物にふれあえて、楽しかったです。田植えでは、足がドロまみれになったけど、小さな苗をちゃんと植えられてとてもほっとしました。次に稲を見られるのは7月。その時も苗の世話や自然観察を楽しみ、頑張りたいと思います(M.K)。

☆谷津田で田植えをして思ったことは、田植えはとても大事な仕事なんだということです。はだして田んぼに入ると、冷たくて、やわらかくて、気持ちよかったです。また、田んぼに入りたいです(R.N)。

☆自然観察であみを使って生き物を取りました。あみを水に入れて、しばらくしてからひきあげると、気持ち悪いほどたくさんのおタマジャクシがとれました。田んぼの水は湧き水で、冷たくて一年を通して16～17度くらいだそうです。ほかにも水の中にはカエルやアメンボ、サワガニ、ホトケドジョウ、ヤゴ、カワニナ、ザリガニ、大きなクモもみつけました。田植えは、田んぼに入ったしゅんかん、冷たくて気持ちよかったです。でも、どろにはまって、足がぬげなくなったりしました。田んぼの水は少し温かいと思ったら、ドロの中の方は冷たかったです。田んぼから出るときに足がはまって、動けなくてころびそうになったけど、なんとか出ることができました。ドロドロになりたかったけど、ならなくてほっとしたような、がっかりしたような気持ちでした(Y.S)。

☆田植えでは、はだして田んぼの中に入って作業をしました。場所は、谷津田という、とても自然が豊かな所です。ひざぐらいまでどろにつかって手もどろだらけでした。でも、このものすごく小さな苗が7月、10月にもっと大きくなっていると考えると、楽しみで仕方がないです。家が近くなので、毎日でも成長を見てみたい！と思ったりしました。早く7月になって、草取りをするときに、どのくらいの大きさになっているか楽しみです(M.F)。

## ■あすみ小学校

☆今日は、あすみ田んぼの日でした。さいしょに白組が、自然観察でした。見るとまるで、生き物の楽園で、おたまじゃくしや、エビ、シオカラトンボ、モンシロチョウもいました。途中で、あぜがこわれそうになっているところもあって、くつがどろだらけになってしまいました。田植えでは、ずぶずぶしてきもちわるかったです。オケラやカエルの子どもなどもいました。すると、土の中で何かとぶつかったかんじがしてみると、大きな植物の根っこが出てきました。足をあらって、学校につきました。とてもつかれて、歩けないぐらいでした。夏になって、稲がどのぐらい成長するか楽しみです（M.M）。

☆今日は谷津田で自然観察をしました。かえるがいっぱいいて、すごかったです。とくに田んぼにいっぱいいました。3びきつかまえました。すぐにはなしてあげました。とてもかわいかったです。よくかえるがじっとしていました。どじょうやヒルもいました。初めて見ました。そのあとに田植えをしました。最初に田んぼに入ったときはねちよねちよして、気持ち悪かったけど、そのあとにすぐに気持ちよくなりました。なえをたくさんもらって、1本ずついねいに入れていきました。計12本植えました。楽しかったです。あつという間に終わりました。今度行ったときはヘビ（毒なし）に会ってみたいです。トンボもいっぱいいて、色がとてもきれいでした。絵に描いてみたいなあと思いました。次回が楽しみです（M.I）。

☆まず最初に自然観察をしました。田んぼにたくさんのかえるや大きくもがいました。びっくりしたのは、蛇の長い抜け殻があったということです。かえるのいろいろな種類の名前が覚えられてうれしかったです。次に田植えをしました。金谷さんやボランティアの人の説明を聞きながら田植えをしたらきれいに植えられたのでうれしかったです。初めて泥に入って田植えができてよかったです。草取りや稲刈り、脱穀がとても楽しみです（H.N）。

☆今日は、初めて田植えをしました。まずは、金谷さんの説明を聞いて、さっそく田植えをするために、準備をしました。そして…初めて田んぼに入りました。最初は、足がはまりそうで怖かったけど、なれてくるとだんだん気持ち良くなって行って、楽しかったです。でも、手に持っている苗を一本取るのが難しく、なかなかできませんでした。でも、コツをつかめばサッサッサッと、できるようになって、もっと植えたいなと思いました。隣には、さあやちゃんがいたので、助け合いながら田植えをしました。それなので、楽しさも二倍となりとても楽しかったです。田植えをしていると中から虫が出てきたけど、田植えが楽しくて虫には見向きもせずに田植えに夢中になりました。今思うと、最初の頃の私はなぜあんなに嫌がっていたのかなと、不思議に思います。もう田植えはしないとと思うけど、草取りとかも、こんなに田植えが楽しかったのなら、きっと楽しいと思うので、

次あすみ田んぼに行くのがすごく楽しみです。早く草取りがしたい！（Y.K）。

☆「うわっ」この言葉は、初めて裸足で田んぼの中に入った瞬間に言ってしまった言葉です。この言葉の意味ははっきりとは、覚えていないけど、たぶん足の指と指の間にやわらかくて、冷たいどろが入ったからだと思います。最初は気持ち悪かったけど、入っている時間が過ぎるにつれて、だんだんなれてきました。そして、谷津田プレーランドプロジェクトYPPの人たちや手伝ってくれたお母さんたちから稲の苗をもらって、ロープにそってならんでいきました。たて30センチ、横20センチの印が付いているところに田植えをしました。とっても大変でした。お米を作るのに、こんなに大変だったとは知りませんでした。だから、今からお米を残さないようにします（T.A）。

☆私は初めて田植えをして、米を作るのにとても時間がかかるのをあらためて分かりました。どろがヌルヌルして気持ち悪かったです。しかも、一歩歩くごとに足がズボズボはまって歩くのに一苦労しました。説明の中で、田んぼの守り神がへびだと聞いて、びっくりしました。どろにはアメンボやカエルの赤ちゃんがいっぱいいました。どろから、いねをそっと取るのがむずかしかったです。また、いねの根っこを親指で支えることや、できるだけ土をつけて植えるなど細かいことを気をつけてやるとものすごく大変でつかれました。次は草取りなので、またがんばりたいです。その時に田植えをしたときより、何センチ大きくなっているか、自分の植えたところがどうなっているか楽しみです（M.S）。



あすみ小の皆さんの絵



# 里山たんけんレポート

## 第160回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2013年5月5日(日) 晴れ

今日はトンボの先生互井賢二さんをお迎えしての観察会です。いち早く発生するニホンカワトンボ、ヤマサナエ、シオヤトンボが羽化の盛期です。まずはニホンカワトンボから観察です。とまっている姿、飛ばしてみても飛び方を観察、捕らえて詳細な観察と解説です。翅が赤褐色の個体は縄張りを持ったオスで縄張りを持ってないオスが透明な翅をしていて、言うなれば弱い個体だそうですが、それでも縄張りの周辺にいて、縄張りに入ろうとするメスを横取りするなどしてちゃんと繁殖に参加している由。トンボの身体の仕組み、腹部10節、腹端と副性器による雌雄の見分け方、生態など詳しく解説していただきました。同様にヤマサナエ、シオヤトンボの生態などお聞きしました。近くの水路にヤマサナエの脱皮殻が7つにあり、さらに脱皮途中で力尽きたものもありました。田んぼではシオカラトンボが連結して飛んでいました。互井さんがこの後メスは産卵してオスはメスの上方でメスを見守ると説明していたところその通り産卵が始まり、お話し通りのオスの行動が見られ、みな大喜びでした。



あつという間に終了時刻は過ぎてしまいましたが先生が持って来てくださった標本を見せていただきました。羽化殻標本による雌雄の見分け方や標本の作り方のなど質問にも丁寧に応えていただきました。熱心にお付き合いくださった互井賢二さん、有難うございました。

(参加者 大人15名、高校生7名、こども7名； 報告：網代春男)

## 下大和田 YPP 第146回「田起こしとくろ塗り」・147回「田植え」(兼、第3・4回米づくり講座)

田起こし：2013年5月11日(土) 雨、田植え：5月19日(日) くもり

田起こしの日は朝からあいにくの雨で、降ったり止んだりでした。それにもかかわらず大勢の方が集まって、天気を気にせず元気いっぱい作業をしてくださりました。冬場に水が少なめだった田んぼには草がびっしりと生えています。そこに鍬を入れ土の塊をひっくり返して草を地中に埋め込みます。鍬を深く入れ過ぎず、鍬をうまく土の塊に引っ掛けるとあまり力を使わずに起こせるのですが、ここは技と経験、奥が深い作業で、うまくできるようになると思わずのめり込んでしまいます。でも、気をつけないと腰痛が……。皆さんの力で雨の中でも田起こしは順調に進み、さらに有志の方が翌日も作業をしてくださり、無事終了しました。

(参加者 大人xx名、こどもxx名； 報告：高山邦明)

田植えは打って変わって天気に恵まれ、初参加の皆さんもたくさん交えて気持ちのよい作業になりました。初めての方にはまず田植えの仕方を教えてあげ、比較的泥が浅い田んぼを担当してもらいました。一方、ベテランさんはところによってはヒザ近くまで潜る深い田んぼの田植えを引き受け、植える手つきは手慣れたものの、泥から足を抜くのに難儀しながらがんばってくださいました。大勢の皆さんの力のおかげでコシヒカリと緑米の田植えをすべて終えることができました。残っていた黒米、赤米、農林一号は有志の方がその後の平日に植えてくださり、今年の田植えが終わりました。(参加者 大人37名、こども26名； 報告：高山邦明)

## 小山町 YPP 第92回「田んぼの手入れ」・93回「田植え～ぼーと1」

田んぼの手入れ：2013年5月12日(日) 晴れ、田植え：5月26日(日) くもり

12日は今年からお米作りをお手伝いすることになった地元の方の田んぼの田起こしと草取りをしました。水が漏れやすい段々になっている田んぼなので、まずは水漏れの穴を探してふさいで水が貯まるようにしないとけません。初めての田んぼは様子がわからないので、探偵のように田んぼのあちこちを調べます。大穴を見つけると“ヤッター”と思うのですがそれをふさぐとまた別のところから水漏れ。それを繰り返してようやくある程度水が貯まるようになりました。草がぐんぐん生える季節なので、田起こし、草取り、穴ふさぎとこれから忙しくなります。

(参加者：大人8名、中学生1名； 報告：高山邦明)

26日は田植えをしました。既に平日などイベント以外の日にも常連さんたちを中心に田植えが進んでいます。今回は初参加のご家族があり、久しぶりに小さな子どもたちも参加しての作業になりました。初めての方には浅い田んぼ、常連さんは泥深い田んぼを担当していただきました。子どもたちは最初は田植え、途中からは田んぼの周りで生き物探しに熱中。子どもたちの歓声を聞きながらの作業は心地よいものです。みなさんのおかげで、いつも米作りをお手伝いしている地元の方の田んぼの田植えがすべて終わりました。いつも6月まで続く作業が今年はとても早く済んでひと安心です。

(参加者：大人8名、小学生5名、幼児1名； 報告：高山邦明)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 5月 1日 枝谷津の奥からキビタキのさえずりが聞こえてきた(高山)。
- 5月 5日 アシ原でオオヨシキリがしきりにさえする(高山)。
- 5月 18日 ウノハナが咲く。今年生まれのアカガエルのチビが畔で跳ねていた。ホトトギスがさえする(高山)。
- 5月 26日 ドクダミが開花。上空からホトトギス、サシバの声がした(高山)。
- 5月 29日 ツククサが花を開きはじめる。キイチゴの実が甘く熟していた(高山)。

### 下大和田

- 5月 7日 アズマヒキガエルのおたまじゃくしさんに両手両足が生えていた。しっぽはまだある。また、まだ群がったまま過ごしている(金谷)。
- 5月 19日 オオヨシキリの囀り今シーズン初めて聞く(網代)。アズマヒキガエルの子達が旅立っていった模様。アカガエルのおたまさんがまだ少し残っている。キショウブ咲き始め。山桜のさくらんぼがなっていた。いばら咲き始め(金谷)。
- 5月 20日 ホトトギスの声を今シーズン初めて聞く(網代)。
- 5月 21日 ホトトギスとウグイスのさえずりをたくさん聞くようになった。自然農の陸苗代の草取り始め。苗は七、八センチほどに成長(金谷)。
- 5月 23日 ノイバラが満開、ウツギ、ガマズミが咲き始め、たくさんの虫が花を訪れていた(網代)。
- 5月 31日 クワの美食べ初め(金谷)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

## ▼148回下大和田 YPP「田の草取り」(兼第5回米づくり講座)

梅雨の季節、田んぼで稲と一緒にぐんぐん生育する雑草を抜きます。カエルやトンボなど生きものたちを観察しながらひと汗流しましょう。

日時: 2013年6月15日(土) 10~14時 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴(田んぼでの作業なので長めがいいです)、帽子、軍手、敷物。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

## ▼第162回 下大和田 7月の谷津田観察会とごみ拾い

生きものがいっぱい季節です。シュレーゲルアオガエルの赤ちゃんが林縁の葉っぱの上にちょこんと載っている頃です。

日時: 2013年7月7日(日) 10~12時 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(下大和田 YPP に同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

## ▼第94回 小山町 YPP「田植え~ぼーと2」

今年からお手伝いをするようになった地元の方の田んぼに田植えをします。

日時: 2013年6月16日(日) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(田んぼでの作業なので長めがいいです)、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 いよいよ6月、梅雨の季節です。かつては今が田植えの季節。雨の中、早乙女(さおとめ)が早苗(さなえ)を植えるのが田植えの風景だったようですが、両方の言葉に共通する“さ”は田んぼの神様のことなのだそう。下大和田も小山もひと足早く田植えが進んでいますが、今年の稲の生育はどうでしょう? それこそ神様のおぼしめし次第ですね。(高山 邦明)